

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	川崎町						
地域内総人口（人）	7,833						
地域総面積（km ² ）	270.80						
地域の要件	豪雪	山村	過疎				
地域の要件がその他の場合は 具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	令和2年4月1日
終了年月日	令和7年3月31日
計画期間	5年

2 目標の達成状況

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		令和元年度現状		令和6年度目標		令和6年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	5,151人	59.9%	5,001人	64.7%	4,991人	63.7%
	農業集落排水施設等		0.0%		0.0%		0.0%
	合併処理浄化槽等	1,817人	21.1%	1,792人	23.2%	1,782人	22.8%
	小計：汚水衛生処理人口	6,968人	81.0%	6,793人	87.8%	6,773人	86.5%
	単独処理浄化槽等	136人	1.6%	94人	1.2%	95人	1.2%
	非水洗化人口	1,501人	17.4%	846人	10.9%	965人	12.3%
	小計：未処理人口	1,637人	19.0%	940人	12.2%	1,060人	13.5%
	合計：総人口	8,605人	100.0%	7,733人	100.0%	7,833人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	1,677キロリットル		1,223キロリットル		1,269キロリットル	
	浄化槽汚泥量	1,043キロリットル		1,135キロリットル		1,133キロリットル	
	合計	2,720キロリットル		2,358キロリットル		2,402キロリットル	

2 目標が達成できなかった要因

令和元年度と比較して、令和7年度の総人口が618人減となっております。また、高齢化における年金世帯の増加によって、個人負担の生じる浄化槽の入れ替え数が減少したことも原因の一つと考えます。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和11年度まで

引き続き浄化槽を導入していない地域へ、汚水処理の必要性や補助制度について、広報誌やホームページ等での普及PRを行っていきます。

(都道府県知事の見解)

人口減少が続く中、未処理人口の解消のためには、合併処理浄化槽などの分散型汚水処理の導入促進が汚水処理衛生人口の目標達成に大きく寄与されると思料されることから、引き続き循環型社会形成推進交付金を活用した汲み取り槽や単独処理浄化槽からの転換を効率的に進められるよう努められたい。

※令和6年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。